



株式会社 陽と人

国土審議会地域生活圏専門委員会 「人材・コミュニティWG」

2025年1月16日

株式会社陽と人
代表取締役 小林味愛

自己紹介

小林味愛（こばやし みあい）

株式会社陽と人（ひとびと）代表 東京都立川市出身。

慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、衆議院調査局入局、経済産業省出向、株式会社日本総合研究所を経て、福島県国見町に株式会社陽と人設立。

福島の地域資源を活かして地域と都市を繋ぐ様々な事業を展開。

直近では、あんぽ柿の製造工程で廃棄される柿の皮を活用したコスメブランド『明日 わたしは柿の木にのぼる』を立ち上げ。第9回環境省グッドライフアワード特別賞など様々な賞を受賞。

子育てをしながら福島と立川と山梨の3拠点居住。



くにみまち

福島県 国見町



福島県の最北端に位置する国見町は、日照時間が長く降水量も少ないため、木が立派に育つ果物栽培に適した土地です。

朝晩の寒暖差と、盆地特有の厳しい暑さ、地元農家さんの努力が、美味しい桃を育てています。

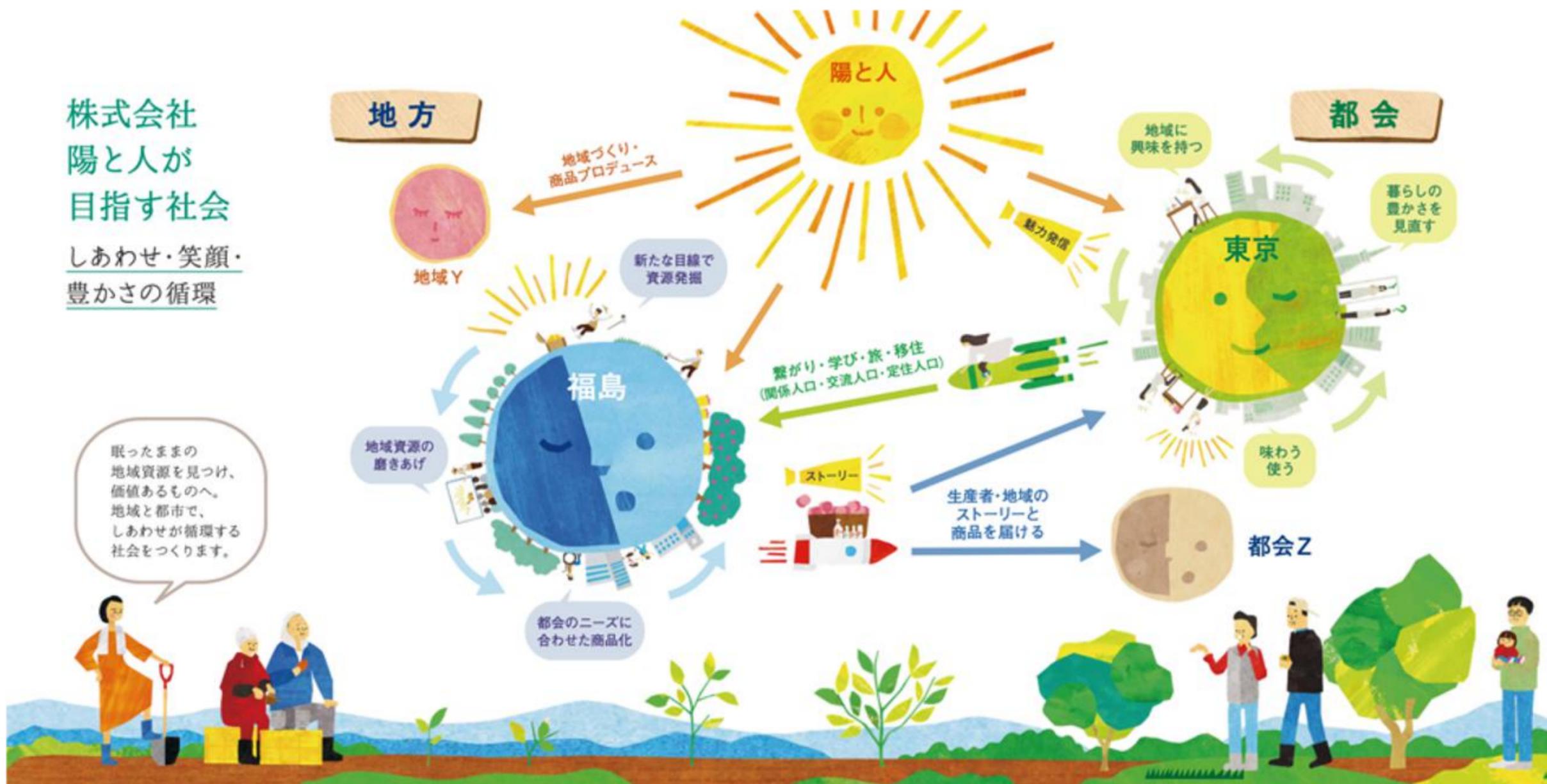


わたしたちが目指す社会

ビジョン

子どもたちの未来につながる**ダイバーシティ**溢れる地域・社会のエコシステムをつくる。
～誰しもが健やかでいられる優しい社会を。～

株式会社
陽と人が
目指す社会
しあわせ・笑顔・
豊かさの循環



陽と人が取り組む課題



**付加価値労働生産性
の向上**

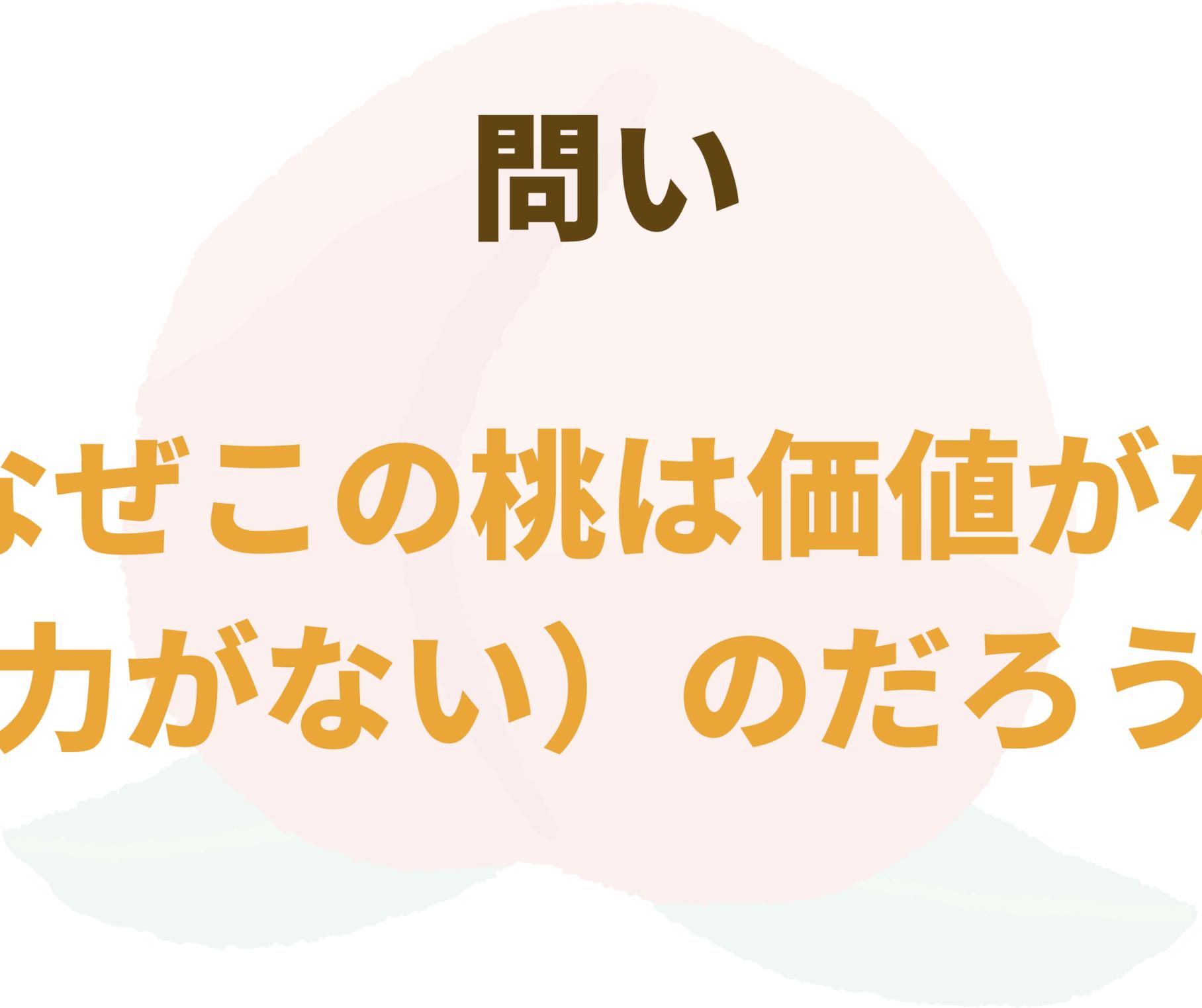
**アンコンシャスバイアス
の改善**











問い

「なぜこの桃は価値がない
(魅力がない) のだろうか？」

全量買取制



自社の集出荷 オペレーション



相乗り物流



直販



陽と人が取り組む課題

福島県の
農業課題解決



女性を取り巻く
課題の解決



陽と人が解決を目指す課題

生理回数の増加が現代女性にもたらした健康リスク

25%

月経困難症
(月経のある女性のうち)

10%

子宮内膜症
(生殖年齢女性のうち)

20. 1人/10万人

卵巣がん
(18年の新規罹患率)

3~5%

生活が困難な程度の月経前症候群 (PMS)
(月経のある女性のうち)

20~30%

子宮筋腫
(30代の女性のうち)

男女の

性差を考慮した

研究開発が、

わたしたちの

暮らしを変える



現代女性の健康課題

本当に喜んでもらえる製品・

サービスに













植物由来の国産デリケートゾーンケアブランド「明日 わたしは柿の木にのぼる」

「明日 わたしは柿の木にのぼる」は、収れんや消臭作用など柿にまつわる古来の知恵に着目したデリケートゾーンケアブランドです。寝不足、不規則な食生活、疲労、免疫力の低下など、私たちの生活の乱れによって、デリケートゾーンの菌のバランスが崩れ、それがおりものの異常やかゆみなど、デリケートゾーンに症状としてあらわれます。

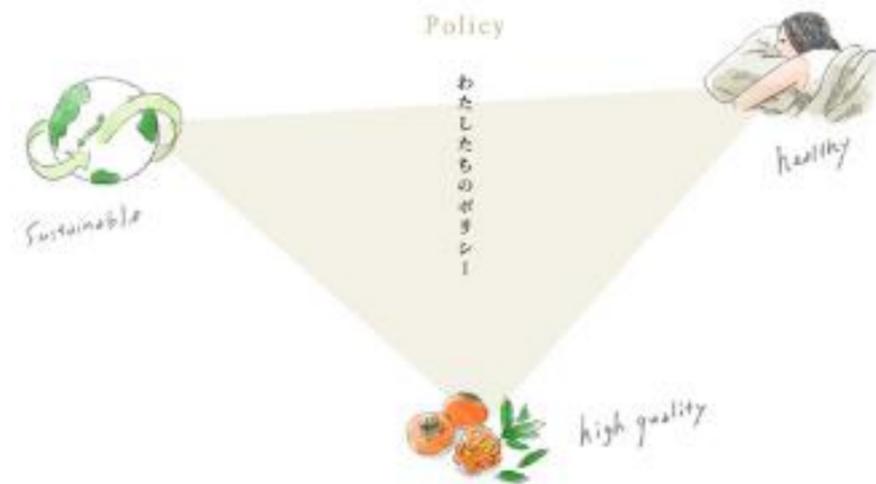
そのため、デリケートゾーンは「自分の心とカラダを知るバロメーター」になります。

1日10秒でもデリケートゾーンケアを通して、全ての女性をご自身をいたわるきっかけになりますように。

あんぽ柿の生産過程で廃棄されていた資源（柿の皮）を製品の主原料に使用。

そして生き生きと輝く女性をエンパワメントする製品をつくることで、社会へ還元します。

循環する社会の実現へ向けた活動を止めません。



石油系界面活性剤をはじめ、防腐剤や鉱物油も無添加。

厳選した植物由来成分*を用いたシンプルな処方にこだわり、国内工場での製造を行っています。

月経、妊娠、出産、更年期、閉経、そしてニオイや乾燥といったデリケートゾーンのトラブルなど、女性特有のさまざまな悩みに寄り添います。



専門家とともに知識の普及



フェムテック×D&I×イノベーション

はたらく女性の心と身体のFACTを知り

企業のあり方・イノベーション創出を考えるセミナーを実施しています



株式会社 陽と人
代表 小林 味愛

東京都立川市出身。
慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、衆議院調査局入局、経済産業省出向、株式会社日本総合研究所を経て、福島県国見町に株式会社陽と人設立。
福島の地域資源を活かして地域と都市をつなぐ様々な事業を展開。直近では、おんぼ柿の製造工程で廃棄される柿の皮を活用したデリケートゾーンケアブランド『明日 わたしは柿の木にのぼる』を立ち上げ。
第5回ジャパンメイドビューティアワード優秀賞受賞、ソーシャルプロダクツアワード2021ソーシャルプロダクツ賞受賞、第9回環境省グッドライフアワード特別賞受賞、2021年度地方創生賞受賞など数多くの賞を受賞。
商品の販売に留まらず、女性活躍のための研修など様々な活動を行う。
2021年3月から復興庁「復興推進委員」も務める。子育てをしながら福島と立川の2拠点居住。

セミナーは、経済産業省令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業」に採択されて制作したものです(医療監修済み)。【所要時間(目安):1時間半(質疑応答含む)】

PART1

今の社会について知ろう

～女性がぶつかるキャリアの壁。その背景にあるジェンダーギャップを解消するために～

- ・日本における女性活躍の歩み、現状の社会制度の限界を知る。
- ・性差を生かしたイノベーションの創出とは。
- ・女性特有の健康課題を知ることが企業価値の向上やイノベーションにつながる理由。等



PART2

基礎から知ろう女性の健康課題

～マネジメントする上で知っておくべき女性の身体のリライフサイクルと女性ホルモン～

- ・常に揺らぐ女性のライフサイクル。
- ・月経とは。なぜ「仕事」と「月経」が関係するのか。知っておくべき「月経」の基礎知識。
- ・誰にでもやってくる更年期。更年期症状を経験した約1割が仕事をやめている。等



●参加者に合わせたアレンジが可能です

役員やマネジメント層向け、女性従業員向けなど、セミナー参加者に合わせたテーマ設定を行います。

●その後の行動変容や具体的な変化・気づきにつなげます

セミナー企画者との打ち合わせのほか、参加者には事前アンケートをとらせていただき、参加者の関心・悩みがある部分を重点的に話します。



※セミナーには、「事前のアンケート設計・調査票作成・結果取りまとめ」、「事後のインサイトにつながるアンケート設計・調査票作成・結果取りまとめ」、教材「はたらく女性の心と身体FACTBOOK(30冊まで)」を含みます。

お問い合わせ先 株式会社陽と人 info@hito-bito.jp

「女性の見えない健康課題」に気づき、はじまる組織のDE&Iとイノベーション 見える！ダイバーシティ研修

女性の健康課題を軸に、見えない多様性を「可視化」することで、組織のDE&Iやイノベーションを促していくプログラム。
オリジナル映像教材（短編ドラマ）や対話を通じたアクティブラーニングの手法で実施。

「わたし」の課題を、「みんな」の課題へ。
自組織における「公正とは何か」を今一度一緒に考えてみる。

01 インプットトーク

働く女性の健康課題を組織で支援する意義とジェンダーダイバーシティの概念を再認識するための視点の提供と事例紹介を行います。

02 実践ワーク・対話

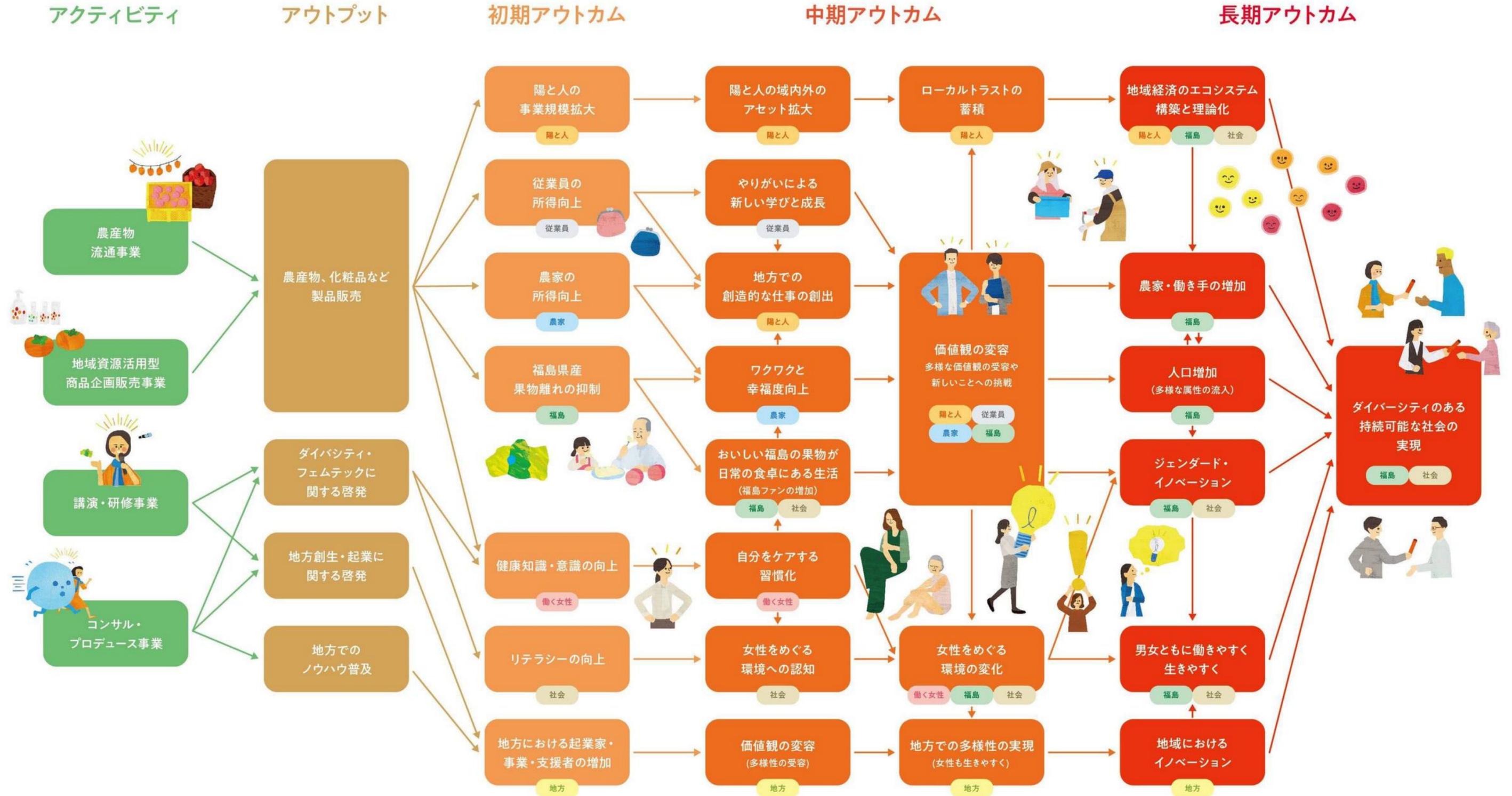
とある職場を舞台にしたオリジナル映像（短編ドラマ）を視聴し、登場人物の背景や状況を想像、気づき・違和感を共有するワークを行います。月経・妊娠・更年期など女性の健康課題に関するアンコンシャスバイアスに自ら気づくための思考と対話の時間です。

03 講義と気づきの共有

ワークで見た映像に出てくる女性の健康課題の基礎知識の講義を行います。この段階で“身体の仕組み”をインプットすることで、生物学的な知識とDE&Iの概念を融合していきます。その上で、気づきをシェアして多様な意見に耳を傾けます。最後に、「公正とは何か」「アンコンシャスバイアスの弊害を抑制するためには」という2つの観点からまとめを行います。



"陽と人型"課題解決のロジックモデル



※アウトカムに記載された主体は、当該変化が起きる主体を示しています。
 ※ロジックモデルは常に変化しているため上記図はあくまでも掲載時時点での概要です。

社会的インパクト

経済的インパクト

ステークホルダーインパクト